

輸送の安全に関する計画(令和4年度)

(1) 安全に対する取り組み

輸送の安全確保が最も重要であるという意識の徹底

- 1、社長の安全方針、運輸安全マネジメントの取り組み、目標について、資料の配布
- 2、点呼執行立会・社外指導の実施
(社長による朝の点呼立ち合い、添乗)
- 3、管理者等一般講習の受講(運行管理者および整備管理者)
- 4、運輸安全マネジメント講習会(3名参加)
- 5、各管理者の定期的社内会議の開催(管理知識と安全に関する情報の共有化)
- 6、運転免許証、運転記録の定期的な確認
- 7、安全に関する題材のレポートの提出
- 8、清掃員の配置増員(つくば営業所・本社営業所)により休息期間の効率化。
- 9、アーチ形洗車機(つくば)により休息期間の効率向上。
- 10、つくば営業所新車庫計画により自社車庫の建設計画と洗車場の設置。

(2) 事故の削減

- 1、事故発生時の徹底した原因究明と再発防止対策の最強化。
- 2、ヒヤリ・ハット情報の報告会の開催と情報の共有
- 3、点呼指導体制の強化及び統一化
- 4、事故じゃ起者の実演指導(外部研修施設における安全運転教習)
- 5、春の全国交通安全運動、夏の事故防止運動、秋の全国安全運動、
年末年始自動車輸送安全総点検等、全社的事故防止運動の実施
- 6、営業所に現状の「事故件数・事故金額・事故の原因と対策」を掲示
- 7、社内事故発生回覧により情報の共有と速報
- 8、外部研修機関とのタイアップによる「事故削減」研修の開催
- 9、携帯電話操作の危険性の外部講師による指導
- 10、安全運行のキャンペーンを行い乗務員一同意識しあいながら連続無事故を達成させる。
- 10、ヒューマンエラーの減少のための教育

(3) 運転者の技術の向上

- 1、市街地、山間部走行、冬山走行、チェーン脱着研修会、夜間走行の実施
- 2、車庫入れ、狭い場所への車庫入れ技術の向上。「タコツボ訓練」「深視力訓練」
- 3、高齢運転者の指導(危険予知トレーニングの実施)
- 4、添乗教育(運行車両に社長が同乗し、運転操作、接客を指導)
- 5、指導運転者・指導補佐による新人運転者教育
- 6、ASV搭載車両の運行指導

- 7、モービルアイ（724、2525）の増設導入と運行指導
- 8、ドライブレコーダー（新車）導入による指導
- (4) 飲酒検知器の活用
 - 1、高性能アルコール検知器の導入（全職員への支給）
 - 2、宿泊業務運転者への携帯型アルコール検知器の貸与
- (5) 添乗員研修、教育
 - 1、接待マナー、もてなし対応研修会への参加及び指導（旅行会社、バス協主催など）
 - 2、外部講師による茨城県の接待マナーへの参加
- (6) 異常時への対応
 - 1、緊急連絡体制の見直しと最高責任者までの連絡スピードの向上強化
 - 2、救急救命講習の継続的な実施
 - 3、異常時実践訓練の実施
 - 4、事故発生時の訓練
 - 5、バスジャック訓練（バス協）への参加
（新入社員への初期訓練、バスジャック、車両火災、交通事故を想定した実務的な訓練）
- (7) 健康管理

全社員の年一回の健康診断の受講及び健康指導

S A Sの定期的な確認

筑波山登山（第二回目）

耐久ウォーキング大会（第一回）
- (8) 情報の共有及び伝達
 - 1、運行会議の月一回の開催
 - ・事故報告、乗務員、内勤者の意見交換、運行関係情報の共有
 - 2、内勤者会議の開催
 - ・運行会議における報告事項等の伝達と徹底、営業所内の問題点への対応
 - 3、全従業員研修
 - ・年数回の外部研修（接待マナー、モラル、靴磨き向上、等について）

緊急追加

- (9) コロナウイルス感染症対策
 1. 車内、社内の除菌
 2. 飛沫防止シートの取り付け
 3. 社員全員の出社前検温と健康状態の報告
 4. 車両にプラズマクラスターまたは、オゾン発生装置の取り付け
 5. 光触媒の追加コーティング
 6. トイレ付車両のトイレ室内の光触媒コーティング